

■全数把握対象疾患(結核を除く)

四類感染症の **E型肝炎** 1人(推定感染地域:国内)の報告がありました。

★インフルエンザが流行注意報レベルとなっています!

★水痘が流行警報レベルとなっています!

■定点把握対象疾患

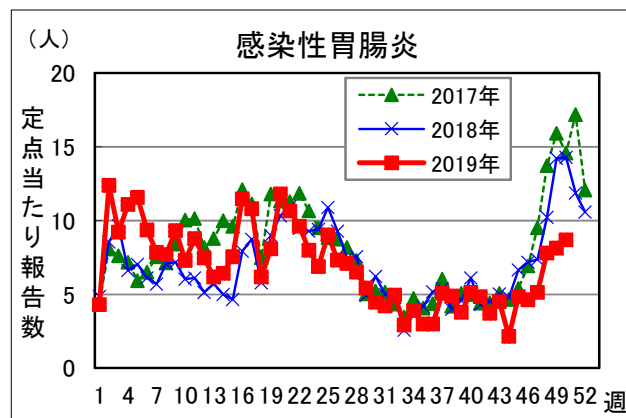
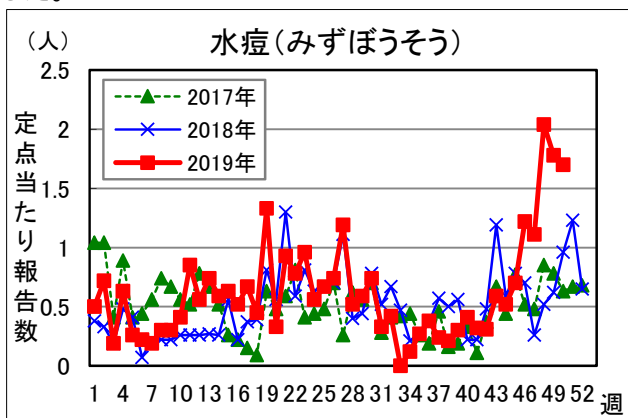
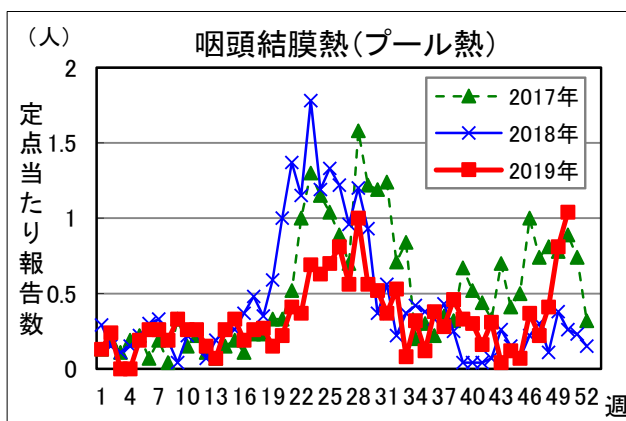
インフルエンザの定点当たり報告数は、先週の13.00人から20.32人(報告数833人)と増加しました。ウイルス検出情報などの詳細は、別紙「さいたま市インフルエンザ週報」をご覧ください。

水痘の定点当たり報告数は、先週の1.78人から1.70人(報告数46人)と減少しましたが、流行警報レベルが続いています。

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、伝染性紅斑の報告が増加しました。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が多い状況です。

細菌性髄膜炎の報告が1人(70歳以上)ありました。



■定点当たり報告数表(第50週 12月17日 13:00集計)

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
インフルエンザ	20.32	↑	★★
RSウイルス感染症	0.48	↑	★
咽頭結膜熱(プール熱)	1.04	↑	★★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.63	→	★★
感染性胃腸炎	8.70	↑	★★
水痘(みずぼうそう)	1.70	↓	★★★
手足口病	1.15	↑	★
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.37	↑	★
突発性発しん	0.67	↑	★
ヘルパンギーナ	0.00	↓	★

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.00	↓	★
急性出血性結膜炎	0.00	→	★
流行性角結膜炎(はやり目)	0.63	→	★
細菌性髄膜炎	1.00		報告数が少ないため表示せず
無菌性髄膜炎	0.00		
マイコプラズマ肺炎	0.00		
クラミジア肺炎	0.00		
インフルエンザによる入院患者	3.00		
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	0.00		

※推移:2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少)

※流行状況:過去5年のデータをもとに、流行の大きさを示します。(小さい ←★、★★、★★★→ 大きい)

感染症発生動向調査 週情報（患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級）

（2019年第50週 令和元年12月9日～12月15日）

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
インフルエンザ #1	833	20.32	2	12	19	25	33	40	47	64	94	77	67	188	18	17	38	52	22	10	7	1
RSウイルス感染症	13	0.48	1	3	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	28	1.04	-	-	3	4	3	7	5	2	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	2.63	-	-	-	1	6	10	5	13	11	4	5	11	-	5	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	235	8.70	4	15	32	20	27	22	15	21	19	9	12	26	2	11	-	-	-	-	-	-
水痘	46	1.70	-	-	1	-	1	2	2	7	10	8	6	8	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	31	1.15	-	1	4	8	5	4	2	2	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	10	0.37	-	-	-	1	1	1	-	3	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	18	0.67	-	5	9	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	0.63	-	-	1	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 #2	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザによる入院患者	3	3.00	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

#1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3 オウム病を除く

流行状況… : 警報レベル、 : 注意報レベル

12月 17日 13:00 集計

全数把握対象疾患届出数(2019年)

類型	疾患名	2019年 第50週 受理分	2019年 累計 ※1	2018年 累計 ※1,2	疾患名	2019年 第50週 受理分	2019年 累計 ※1	2018年 累計 ※1,2
一類	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0
	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0				
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	0
	結核 ※3				鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0				
三類	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	0	0
	細菌性赤痢	0	2	1	パラチフス	0	0	1
	腸管出血性大腸菌感染症	0	27	36				
四類	E型肝炎	1	3	3	東部ウマ脳炎	0	0	0
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0	0
	A型肝炎	0	0	14	ニパウイルス感染症	0	0	0
	エキノкокクス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0
	黄熱	0	0	0	日本脳炎	0	0	0
	オウム病	0	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	鼻疽	0	0	0
	キャサナル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0
	Q熱	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0
	サル痘	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	マラリア	0	2	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兔病	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	1	レジオネラ症	0	13	12
つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	1	0	
デング熱	0	2	0	ロッキー山紅斑熱	0	0	0	
五類	アメーバ赤痢	0	8	14	侵襲性肺炎球菌感染症	0	38	47
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	3	6	水痘(入院例に限る)	0	4	4
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	10	16	先天性風しん症候群	0	0	0
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	0	3	4	梅毒	0	72	72
	急性脳炎	0	33	23	播種性クリプトコックス症	0	3	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	破傷風	0	1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	5	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	9	11	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	12	7	百日咳	0	142	134
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	0	29	46
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	6	6	麻しん	0	4	2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	1
新型インフルエンザ等感染症	規定されている疾患は、現在のところありません。							
指定感染症	該当する疾患は、現在のところありません。							

2019年12月17日 15:00集計

※1 累計は診断日で集計しています。

※2 2018年累計は速報値となっています。

※3 結核は四半期ごとに集計し、感染症情報センターホームページに掲載しています。